



鹿商高通信

2017
第4号

【平成29年度 体育祭 3日間にわたる熱戦】



今年度の体育祭は、7月18・19・20日の3日間で開催しました。

三浦 義雄 校長は挨拶の中で、「あいにくの雨模様にもかかわらず、関係各所及び各位の尽力によって開催にこぎつけたことに感謝すること。また、競技をするにあたって、まず、楽しく元気よくすること。次にルールを守り、マナーを励行すること。三つ目に、競技は相手がいてはじめて成り立つので、相手に対して思いやりをもつこと。最後に、けががないように」と選手たちを激励しました。



それに応えるかたちで、体育祭実行委員長の佐藤 拓海 君（3年）と同副委員長の高橋 希生 さんが、声高らかに宣誓し、競技の幕開けとなりました。

前日に降った雨のため予定を変更せざるを得ませんでした。3年生にとっては最後の体育祭となるため、できる限りたくさんの競技を3日間に振り分けて行いました。

実施した競技は、室内競技として男子2種目（フットサル、バスケットボール）、女子2種目（バスケットボール、ソフトバレーボール）、屋外競技として2種目（障害物リレー、クラス対抗リレー）でしたが、各種目で熱戦が繰り広げられました。また、体育祭2日目には、みやぎ大崎ふつつつ共和国



広報大臣の「パタ崎さん」も会場に飛来し、体育祭に花を添えてくれました。体育祭の結果は次のとおり。

■総合優勝 3年1組 ■準優勝 2年2組 ■第3位 2年1組

□男子フットサル優勝 3年1組

□男子バスケットボール優勝 2年3組

□女子バスケットボール優勝 3年1組

◆障害物リレー優勝 3年1組

◇クラス対抗リレー1年優勝 1年3組

◇クラス対抗リレー3年優勝 3年1組

□女子ソフトバレーボール優勝 2年2組

◇クラス対抗リレー2年優勝 2年2組

●ベストサポーターズ賞 3年2組



◎2017 Tシャツコレクション



【ネット被害未然防止対策講演会】

7月5日（水）、本校体育館にて、宮城県古川警察

署 生活安全課 警部補 千葉 晋一 さんから、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を利用した高校生に起こりやすいトラブルの事例とその防止や対処法について、お話をいただきました。

講演会は、千葉さんの「トラブルの未然防止でまず大切なことは、『情報リテラシー』を身に付けること」という言葉から始まりました。「スマホや携帯電話等は、すでに私たちの生活に欠かせないものの一つとなっています。『自分の身は自分で守る方法（＝情報リテラシー）』を身に付けてほしいのです。実際にあった事案をもとに具体的に分かりやすく講演していただきました。



【第21回 宮城県高等学校生徒商業研究発表大会】



7月8日(土)、大崎市三本木公民館を会場に第21回宮城県高等学校生徒商業研究発表大会が開催されました。鹿島台商業高校(優勝回数3回 平成17・18・19年度 3年連続は史上初)をはじめとし、石巻商業高校、大河原商業高校、一迫商業高校、そして仙台商業高校の計5校が出場しました。



本校からは、課題研究(第2学年商業科目)で研究を重ねてきた猪股 航平君・堀籠 溪君・武者 佑亮君・阿部 萌笑さん・櫻井 真美さん・塩川 舞さん・星川 茜さん・阿部 竜君・尾口 遙菜さん・佐藤 梨佳さんが、『特産品を生かしたイベントで地域を元気に!~「改善策を実践した「デリシャストマトまつり」の考察~』と題してプレゼンテーションをしました。



本大会が全国大会の予選を兼ねているとともに、今年度は、平成29年度東北六県高等学校生徒商業研究発表大会が本県で開催されることになっており、戦前の予想は、激戦必至・戦国時代に突入、でした。予想に違わず、審査はかなり時間をかけて慎重に行われ、難航したことがうかがわれました。



本校の研究は、地元密着型研究であるとともに継続研究の好例との評価を受けましたが、今回は優良賞の受賞にとどまりました。

閉会式後、本校の生徒たちは、お互いの頑張りを称えながら、やり遂げた満足げな笑顔が印象的でした。

平成29年度東北六県高等学校生徒商業研究発表大会
1日 時 平成29年8月19日(土)
2場 所 大崎市岩出山文化会館(スコレハウス)
3当 番 校 宮城県鹿島台商業高等学校

【求人票受付開始・保護者面談開始】

7月1日(土)、平成29年度の求人票の受付が開始されました。今年は、「売り手市場」といわれており、連日、本校には多くの企業、専門学校、そして大学の担当者が訪れています。

教職員も3年生も、そしてその保護者も「好景気や売り手市場」という言葉には注意しなければなりません。売り手市場だからといって、就職口が約束されているわけでも、将来が保証されているわけでもありません。本校では、生徒自身がもつ強みを引き出し、その能力を最大限に利用しながら社会的自立を果たす人材育成を目指しています。

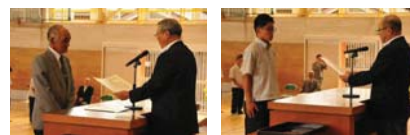
少しでも就職後の離職(ミスマッチ)を回避する手立ての一つとして、保護者面談をとおして成績のことにとどまらず将来を見据えた話し合いの機会を設けています。

よく「就職活動は団体戦」といわれます。教職員だけが頑張ってもだめ、生徒だけが頑張ってもだめ、保護者だけが頑張ってもだめ、なんです。3年生の保護者の方々はもちろんのこと、1・2年生の保護者の方々も、学校行事等を利用しながら、様々なことについて積極的にお問い合わせ下さい。

【夏季休業前の全校集会】



7月20日(金)、全校集会が開かれました。そこで、毎年、本校にお花の苗を数百株単位で寄贈していただいている広長地域資源保全隊様に感謝状を贈呈しました。いただいたお花は校門を入ると正面にある花壇に植えました。また、日本教育公務員弘済会宮城支部様から教育図書(10万円相当)の贈呈をしていただきました。皆様の御協力の下、また一つ教育環境が整備されました。



夏休みを前に、三浦 義雄 校長は、全校生徒に対して、3つのことをお話されました。一つは「夏休みの過ごし方」について、まず楽しく過ごすこと。3年生にとっては最後の夏休みになるが、進路目標達成に向けて大切な時期でもあり、出校日には全員登校すること。1・2年生に対しては、目標をもって過ごしてほしい。

二つ目は、日本人として、そしてアジア人として初めて世界最速ともいわれるインディ500を制した佐藤 琢磨さんが大切にしている「No attack No chance(攻めなければ好機は訪れない)」という言葉引用して、「挑戦すること」の意義を説かれました。

最後に、夏休み中に本県で、全国総合文化祭と全国総合体育大会が開催されること。機会があれば、是非、同じ高校生の活躍を見てほしいと結びました。

〒989-4104 大崎市鹿島台広長字壱師前 44
TEL 0229-56-2664 FAX 0229-56-2461
HP <http://kasimadai-ch.myswan.ne.jp/>